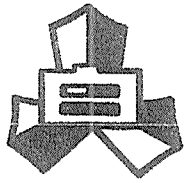


平成 26 年 10 月 31 日

横浜市立白根小学校 学校だより



しらね

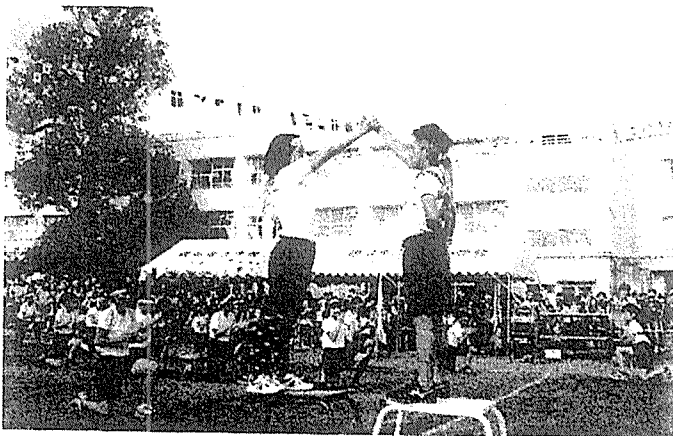
11月号

「かがやき」「きらめく」運動会は、応援する姿を通して

学校長 持丸 隆一

過日の運動会には多くの方々にご来校頂き、大きなご声援を賜り、心より感謝申し上げます。晴天にも恵まれ、テーマに向かってカー杯躍動する児童の姿は、いかがだったでしょうか。私のもとには、「よい運動会だった」という声が多く届いており、私たち教職員も今年の運動会も「よい運動会となった」と考えております。

よい運動会となった要因は何でしょうか。開会式の中でも話しましたが、自分自身の競技や演技に力いっぱいに取り組むのは当たり前のもので、今回、私が児童に求めたのは、友達の頑張りを心から応援することや行事を通してお互いの成長を認め合う姿でした。こういう姿が様々な場面で見られたから「よい運動会だった」という声が届いたものと思っております。運動会という日本独特の行事には、たくさんの教育的な意義が含まれています。今回の運動会では、児童にテーマを意識して行事に取り組むことの大切さを、事あるごとにテーマを唱えることで意識させました。また、今回のテーマにもある、「かがやき」や「きらめき」は、自分自身の努力も大切であるが、それ以上にかがやかせてくれる仲間、きらめかせてくれる仲間がいることが大切であること。そのためにも、友達の頑張りを心から応援し、成長を認め合う姿が、仲間をよりかがやかせ、きらめかせるという事を、行事を通して本校の児童には実感としてわかってほしいと思い指導しました。



左の写真は、応援合戦の写真です。団長を中心として、みんなで仲間を、相手を精一杯応援しています。毎年の光景かとは思いますが、今年の応援合戦の姿には、心のこもった姿を感じました。素晴らしい応援合戦が繰り広げられたことで、座席での通常の応援にも熱を感じました。座席にいる児童たちも演技や競技をしている児童たちと一体となって取り組んでいる姿が多くみられました。この姿が例年にも増して熱のこもった応援に感じられた要因かもしれません。

世の中に出ると競争を伴う場面が多くなり、心から相手を応援する機会が少なくなってしまうかもしれませんが、それだけに人としての人格の基礎が形成される学童期にこういう姿を、活動を通して実感しておくことが大切であると考えています。こういう視点から、もう一度ご家庭でも今年の運動会の児童の頑張りを評価してみてください。また一つ大きな思い出が加わることと思います。